

# 相馬中村藩主歴代の年譜、 初の全文翻刻

## 本書の概要

本書は、相馬中村藩歴代藩主の年譜で、初代藩主利胤誕生の天正9年（1581）から、13代誠胤が歿する明治25年（1892）まで312年間、181冊の記録である。原本は旧相馬藩主家所蔵。原題は「御年譜一 利胤君御代」「利胤朝臣御年譜」「萬榮日録」等さまざまであるが、刊行にあたっては利胤ほか代々の年譜にも通用するよう『相馬藩世紀』と改めた。

原本は一貫した編纂ではなく、その時代ごとに書かれたもので、いずれも編年体である。益胤・充胤・誠胤の巻には編纂者二宮尊親の序文を有する。当時の史料を引用しつつまとめられた記録は信憑性が高く、相馬中村藩政史はもとより、幕政史や地域の民俗学の研究に大変有益な史料である。本書では、翻刻とともに頭注と校訂注を施し利便性を向上させた。

## 相馬中村藩とは

相馬家は平将門を祖と伝える。鎌倉期に千葉氏より入って家を継いだ師党が、源頼朝に従って平泉攻撃に功を立てて奥州行方郡を与えられ、奥州相馬家の祖となった。以降、明治維新にかけて約740年間、陸奥国の行方郡・標葉郡・宇多郡南半あわせて6万石を治めた。

## 23年ぶりの続刊

『相馬藩世紀』は、1999年及び2002年にそれぞれ第1と第2が続群書類従完成会より刊行されている。今回刊行される第3は実に23年ぶりの続刊となる。引き続き、残りの4冊の作業も進行中である。



## 2025年9月刊行予定



A5判上製・函入・316頁  
定価 18,700円（本体 17,000円＋税）  
ISBN978-4-8406-2543-2 C3321

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8  
TEL：03-3291-2961 / FAX：03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp

## 八木書店

画像：『続撰萬榮録』三・六・九

# 相馬藩世紀 3 全7冊

岩崎敏夫・佐藤高俊・岡田清一・水久保克英 校訂・校注

〔収録〕延享三年（一七四六）正月―宝暦四年（一七五四）十二月 第七代藩主尊胤

大目付連  
 相馬藩世紀三續撰萬葉錄一  
 一、六月十二日、大御目付河野豊前守様江小笠原右近將監様、松平陸院守様御留守居被召呼、左之通、御口達有之候哉、御同席中御達有之候事、

地廻り供立候様、先左爲持候儀、古来より爲持被束候哉、又ハ中奥より爲持被束候儀、御座候哉、其段御書付一三日豊前守方江被相出候様、各右近將監様、隠岐守様御留守居申達有之、左之通、御同席中江通達可致候被仰候付、通達之趣、右口上覺、

地廻り供立先様箱、先祖代々今以爲持申候、此段御届申達候、以上、

六月十四日 御名

右之通、河野豊前守様江御届被成候也、  
 一、六月十六日、大御目付河野豊前守様江御留守居被召呼、御相番稻垣攝津守様江御座候、御代り被蒙仰候、御相番稲垣攝津守様江御座候、右二付、御同書御用番堀田相模守様江被指出之、口上覺、

私儀、外藤田御門番被仰付候付、御城内江籠札相納申候、此段奉儀候、以上、

四月廿八日 有馬日向守内 堀江嘉平太 頼鶴孫太夫 松平和泉守内 丹羽所左衛門 西尾清左衛門

御次第不同、  
 相馬彈正少弼 松平越中守様  
 一、五月八日、大御目付伊丹兵衛頭様御留守居申候、左之通、

酒井左衛門尉殿御渡候御書付  
 仙洞、御御二付、四品、拾萬石以上より京都江以使者御香典献上之儀は、元文一巳年之通、中御門院、崩御之節之通、可被差上候、委細松平忠後守江可被候儀、尤献上相濟候以後、月番之老中江可被届候、

右之趣、可被相觸候、

五月  
 一、同月十五日、恭明院殿華桂春公大禪定尼 慶長六年御遠去、  
 當寬延三年百五拾回被爲當、於同慶寺一山御供續撰御年譜五、寬延三年五月

兼之事  
 一、同月同日、於江府、徳胤公御在所江御暇被仰出、御拜領物例之通二御座候事、此節御不快、江戸御發駕日限不相知、

一、同月十九日、御野野追、同廿日、小高御庭御野馬懸流、首尾能相濟候事、御名代岡田監物在居候之、

一、五月廿七日、芳合院殿麗俊英大重女、御七歳、享保十戊申年御誕生、采女福胤御一腹、同十九甲寅年五月廿七日、於江府御遠去、拾七回御忌、

御町於相摩院朝計御供儀、

一、同月、千葉新助事、御孫元松平正之丞様御被相出候處、半人之内、年々拾俵米被成下候段、被仰達候儀、難有奉存御禮申上之、

一、同月十五日、於殿中、御用番堀田相模守様御渡候儀、

向後、參府之節、松平伊豫守、松平伊勢守、供廻り少勢召達様、南部信濃守、相馬四郎守、可被致候、

一一九

六月十六日 一六  
 右、御冤相濟御断有之、籠札相納申候、

一、同月十七日、御用番堀田相模守様被相渡候御書付事、大御目付河野豊前守様御同席中御達有、左之通、

一、兼仙洞御不豫之處、御業生不被爲叶、今御御逝去、爲何御機嫌、明日四時、溜間詰來御業番者御計可有登、城候、尤西丸江出仕、大御所様御機嫌可被候儀、

大納言様江は御機嫌相何不及候、

一、右之向、病氣幼少之面、は月番老中江使者可被差越候、在所之面、は老中江飛札可被指越候、

右之外、は出仕并御機嫌何二不及候、

一、鳴物は今日々來廿三日迄可爲停止、普請は不苦事、右之通、可被相觸候、

六月十七日 大目付  
 一、六月廿二日、大御目付水野對馬守様江諸御番所江御通達、

堀田相模守殿御渡候御別紙之写  
 相馬彈正少弼殿 仙石越前守殿  
 稻垣攝津守殿 堀田相模守殿  
 諏訪因幡守殿 堀田相模守殿

関連書

— 好評発売中 —

相馬藩世紀 第一・第二 そうまはんせいき

岩崎敏夫・佐藤高俊校訂／岡田清一校注 続群書類従完成会発行 ①ISBN4-7971-0681-6 ②ISBN4-7971-0682-4

A5判上製・函入・①288頁②316頁・各冊定価12,100円(本体11,000円+税)

〔収録〕①天正9年(1581)～元禄6年(1693) 利胤・義胤・忠胤・貞胤・昌胤

②元禄7年(1694)～延享2年(1746) 昌胤・叙胤・尊胤

相馬藩刑法万覚 そうまはんけいほうよろづおぼえ

吉田幸雄編 続群書類従完成会発行 ISBN4-7971-0747-2

A5判上製・函入・190頁・定価7,150円(本体6,500円+税)

奥州相馬藩6万石の藩法布令の仕置事例と御定についての覚書。相馬藩特有の在郷給人と呼ばれる下級武士や下々に対して厳しい御定の様子がうかがえる。

【相馬藩世紀(全7冊) 定期予約受付中】

刊行次第、お届けいたします。ご注文は最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	岩崎敏夫・佐藤高俊・岡田清一・水久保克英 校訂・校注／八木書店刊 2025年9月刊行予定		取扱店(番線印)
	<b>相馬藩世紀 第3</b> そうまはんせいき [ ] 冊		
	ISBN978-4-8406-2543-2 C3321 ¥17000E 定価18,700円(本体17,000円+税10%)		
	お名前(ふりがな)	TEL	
ご住所 〒	FAX	E-MAIL	